

# 市政一般質問

6月定例会では18名の議員が質問を行いました。  
主な内容をご紹介します。



## 防犯・防災

### 空き家対策について

朝長 英美 議員

**Q** 空家等対策推進特別措置法の全面施行における本市の空き家対策と戸数はどうなっているか。また、県内10市町で制定された空き家条例は成果を上げているため、本市においても、条例を制定し、解体すべき空き家の対策を早急に実施するべきである。

**A** 本市における空き家対策については、空家等対策推進特別措置法に基づき、空き家等対策計画の策定に着手し、計画の内容について、今後、同法に基づく協議会を設置して検討を行いたい。また、市内の空き家数については、平成25年の住宅・土地統計調査による推計では約1,400軒であるが、詳細はつかめていないため、今後実態調査を実施することとしている。また、空き家条例については、素案を作成しており、庁内で協議しながら進めていきたい。

### 富の原地区の低木街路樹の撤去について

古閑森 秀幸 議員

**Q** 富の原地区の市道に植樹されている街路樹のうち、低木街路樹であるアベリアは大変成長が早く、市も剪定作業を年に2回実施しているが、成長スピードに追いつかず、通行する住民からは不評である。また、小学校の通学路にも指定されていることから、安全性を確保するためにも撤去する必要があるのではないか。

**A** 低木街路樹の剪定については、基本的に年に1回実施しているが、アベリアは成長が早いために2回実施している。予算の都合上、剪定回数を増やすことは困難であるが、交差点の見通しをよくするため、交差点付近については、より低く剪定するなど検討したい。

### 富の原鬼橋線の交通安全対策は十分か

三浦 正司 議員

**Q** 都市計画道路「富の原鬼橋線（JR大村線立体交差）」の複雑な通行経路と交通規制は、通

行者が道を間違ったり、停止線で安全確認をできないため、前方に出過ぎることによる事故の発生が危惧されている。特にJR大村線のアンダーパスを東方向に上った鬼橋町の立小路の交差点においては、それが顕著であるためカーブミラーや横断歩道、信号機の設置が必要だと思いがどうか。

**A** 市道鬼橋線との交差点については、富の原鬼橋線が供用されてから、合流注意の仮設看板を設置し、注意喚起を行っている。また、池田沖田線の竹松工区が供用されておらず、車両の利用が多いことから、6月末までにはカーブミラーを設置する予定であるが、同交差点の安全対策については、市長自らが大村警察署等に出向き、職員と一丸となって講じていきたい。

### 福祉介護避難所の設定の詳細について

三浦 正司 議員

**Q** 平成27年度大村市地域防災計画修正版で設定される福祉介護避難所について、詳細な説明を求め。特に避難対象者や開設の要領はどうなるのか。また、町内